

2021年度 一般社団法人日本私立看護系大学協会 重点事業

1976年から45年を迎えた本協会の事業について、2021年度の重点事業方針を以下に記す。本協会は定款3条の目的である「私立看護系大学の教育・研究および経営に関する研究調査並びに会員相互の提携と協力によって、私立看護系大学の振興を図り、その使命達成に寄与し、もって我が国の看護及び看護学教育・研究の進歩発展に貢献する」ことをめざし活動している。

選挙によって選出された理事・監事組織が3期目を迎え、安定しつつある。この組織の変革が、看護学教育を囲む環境の変化に対応しつつ本協会の運営を円滑に進めるガバナンスの確立を目指す。またCOVID-19感染予防対策により生じた私立看護系大学の課題、および社会的変化に対応し看護学教育の質向上にむけて、本協会の取り組みを示す。

1. 将来を見据えた本協会の組織・活動のあり方の検討

①現在までの本協会の活動を委員会、事業別に整理する

- ・執行部会議の位置づけと機能を明確にする
- ・将来構想委員会の活動目標を明確にし、活動計画を立案、実施する
- ・事務局の管理運営内容を明確にする
- ・記録、情報管理のアーカイブ化

②本協会の安定的なガバナンスの確立

③今後、5年、10年度後を見据えた看護学教育における本協会の組織や活動のあり方を検討する

④本協会の財政的基盤をふまえた活動のあり方について検討する

⑤定款、規程の整備の継続

2. COVID-19感染予防の対応について

①COVID-19感染予防対応により生じた私立看護系大学が取り組む課題を明確にし、課題解決に向けて文部科学省、厚生労働省等関連団体に対応、指針等を求める

②COVID-19感染予防対応により生じる教育の変更に対して、本協会として連携を図りながら看護学教育の質の担保を目指し、会員校への相談窓口の開設や教育内容検討の場を設ける

③各委員会において、COVID-19感染の対応について、内容・方法を企画、検討する

3. 委員会活動の充実

①2年で理事が交代になる可能性が高いことを考慮し、委員会活動の円滑な継続を検討する

- ・委員会人数と半数交代等の検討
- ・将来構想委員会を含め、委員会メンバー構成を含め人員配置の検討

②会員校(4年制大学・短期大学)のニーズと看護学教育の変化に対応した委員会活動を推進する

③研修内容を体系化し、評価する

- ・経営の強化
- ・管理職を対象とした管理・経営能力の向上
- ・組織の教育力向上
- ・研究能力維持向上
- ・社会貢献
- ・新任教員・中堅教員を対象とした教員のキャリア開発
- ・私学における看護教育の特色の理解
- ・ホームページからのタイムリーな研修情報発信

④委員会運用マニュアルを適宜検討し、修正、充実をはかる

⑤地域ごとの活動促進の検討

4. 私立看護系大学運営に関する政策の把握と発信

- ・私立看護系大学会員校のニーズ、特徴を把握する
- ・専門職大学への対応検討
- ・会員校相互の情報交換を促進する
- ・関連団体（文部科学省、厚生労働省、私学振興・事業団、日本看護系大学協議会、日本看護協会、日本看護系学会協議会、日本学術会議等）との連携を強化し、社会の動向を把握すると共に、私立看護系大学のニーズと提言等を、社会、関係諸団体、および会員校に向けて情報発信する

5. 日本看護系大学協議会、日本看護学教育評価機との協働のあり方の検討

- ・JANPU と連携をとりながらデータベースの活用を推進する
- ・JANPU との連携、委員派遣
- ・日本看護学教育評価機構と連携をとり、私学の教育の質向上を図るための活動を検討する
- ・日本看護学教育評価機構への委員等派遣

6. 円滑な選挙実施のための継続的な準備

- ・2022 年度選挙に向けて選挙の実施内容を精査し、選挙体制の検討、必要時改正する